



▲ギターやピアノの生演奏を聴きながら15年を振り返りました

迫・ひまわりハウス15周年を祝う会 作業所開設15年を振り返る

迫社会復帰共同作業所「ひまわりハウス」の開設15周年を祝う会が2月15日に開催されました。ひまわりハウスは、精神障害者の社会復帰を目指し、平成4年から迫町と家族会が運営主体となって活動を開始。手芸作品を中心に制作し、併設するショップで販売や喫茶での接客訓練を行っています。会には作業の指導者やお世話になっている人たちを招待。ギターやピアノの生演奏を聴いた後、会食をしました。出席者からは15年間の活動を振り返った温かいメッセージもあり、思い出に残る一日となりました。

東和で「米川の水かぶり」 上がる水しぶきに歓声

国重要無形民俗文化財指定の「米川の水かぶり」が、初午の日に当たる2月12日に行われました。この祭りは米川五日町地区に伝わる火伏せ行事で、地区内に住む男たちがワラ装束に身を包んで神様の使いとなり、家々の前に用意された水を家に掛けながら練り歩くものです。また、男たちの身に付けているワラを抜き取り屋根に上げると、火伏せのお守りになるとも伝えられています。今年は小学生や高校生を含めた28人の男性が参加。上がる水しぶきに、沿道の多くの観光客は歓声を上げていました。



▲水しぶきを浴びながら火伏せのお守りのわらを抜き取る子どもたち

豊里で「未来に夢を語る会」 一人前の大人として自覚を

「未来に夢を語る会」が2月6日、豊里小・中学校で行われ、8年生（中2）とその保護者、7年生の約150人が出席しました。15歳は昔の元服に当たり、一人前の大人として、また最上学年になるための自覚をもってもらい、両親や家族へ感謝の気持ちを伝える目的で8年生を対象に開催。豊里町出身で生徒たちの先輩、東北放送アナウンサー守屋周さんを講師に招き講演が行われました。また、8年生を代表して及川和貴さんと佐々木友里さんが未来の夢を発表。両親へ感謝の手紙贈呈なども行われました。



▲15歳になるに当たり両親や家族へ感謝の気持ちを伝える生徒たち



▲会員それぞれが創意工夫した作品の作り方などを学ぶ参加者

中田で農産加工作品展示会 創意工夫された作品がズラリ

中田町農産加工作品展示会が2月1日、中田農村環境改善センターで開催されました。この展示会は、地域内農産物を有効利用し、加工技術の向上や安全な農産加工品の普及を目的に毎年開催されています。今回は農産加工クラブ連絡協議会の会員97人から193作品が出品され、「漬物」「梅干し」「みそ」「ジャム」「アイディア」の5部門で審査が行われました。出品された作品は、どれも創意工夫された素晴らしい出来栄。受賞者は「これからも安全でおいしい加工品づくりを進めていきたい」と話していました。

米山で救急救命講習会 応急手当を学んで備え万全

よねやま保育園に通う園児の保護者を対象とした、救急救命講習会（同園保護者会主催）が2月2日、同園で開催され、保護者や職員ら約70人が参加しました。今回の講習会は保護者の要望により開催。市消防本部の救急救命士による、応急手当の重要性についての講話がありました。続いて、参加者はグループに分かれて、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の操作方法などを学んだ後、実際にAEDを使って応急手当を体験。いざというときの対処方法を学びました。



▲心肺蘇生法やAEDの操作方法を学ぶ園児の保護者

石越で「健康アップ・笑顔アップ教室」 軽スポーツで健康アップ!

体のバランスを整えながら健康な生活を送るため、家庭で気軽に取り組める運動や体操を紹介する「健康アップ・笑顔アップ教室」が石越公民館で開催されています。これまで、転倒防止教室や有酸素運動、ニュースポーツなど5種類の教室を開催。2月16日には「いきいきいしこしセミナー」が開かれ、地区住民48人が参加しました。講師に東北生活文化大学の土井豊教授を招き、「転ばぬ先の杖（健康・体力・骨）づくり」と題して、骨密度測定と足裏診断などを実施。参加者は自分の体の健康状態を学びました。



▲骨密度測定と足裏診断などで自分の測定年齢を知りびっくり